

割り込み受注で納期遅れが発生してしまう

Q. 納期遵守でスケジュールを立てても、割り込み受注があるため、納期遅れが発生してしまう。どうすればよいのか？

要旨 加工の順序や方法、作業時間、使用する設備などを設定し、必要な工数、機械を山積みし、保有する人員、設備の能力を考慮して調整し生産計画とします。基準日程や日程計画の決め方にムリが無くても、緊急受注が割り込むと計画が変更され納期の変更が発生します。納期の変更が発注側にも社内にもキチンと伝わっていないと、納期遅れとなってしまいます。

解説

1. モノと情報の流れ

納期遵守のために生産計画を立て生産を開始します。割り込み受注があると計画が狂い、納期遅れが発生してしまいます。変種、変量、短納期の受注生産では、ロス（災害、故障停止、不良）のゼロ化やムダの排除だけでなく、納期遅れゼロに向けての改善が大切です。

納期遅れゼロを効率的に達成するには、注文に基づく「情報の流れ」とそのための「モノの流れ」を一致させる（一元化する）ことがポイントです。「情報の流れ」と「モノの流れ」が一致することで、トラブル発生や割り込み受注に対して管理者、現場監督者、作業者がリアルタイムに対応できるようになります。

2. 「モノと情報の一元化」がされていないと起こる問題

- ①欲しいモノがどこにあるか分からない。いつ、どこで、何に使うモノかわからない。
- ②要らないモノがある、直ぐ使わないモノがある。必要なモノがない、必要な数がない。

③まとめ造り、不良を見込んだ生産で計画と実績数に差が発生。

④モノがどの注文に引き当たっているか分からない、このモノの納期が分からない。遅れている注文、遅れそうな注文がどのモノか分からない。

⑤不良発生と不良実績報告にタイムラグがあり、不良現象が消えてしまう、不良品が無くなってしまう。

これらの問題を解決し、「モノの流れ」と「情報の流れ」を一致させることが大切です。

3. 急な変化への対応

何かをやる時に、ためらいなく直ぐに取り掛かれるようにする必要があります。考えているうちに時間が経過します。もし改善しなければ、次から次へと仕事に来て後手後手に回って時間に追われます。仕事に来る前にあらかじめ準備をしておき、必要なモノが直ぐに取り出せる工夫をしておきます。急な納期変更や割り込み受注などへの対応には、あらかじめリスクを予測して事前の対応を取っておく必要があります。

割り込み受注の実態把握と対応 ～モノと情報の流れ、納期と量の関係を改善～

＜ご提案のポイント＞

- ・ 割り込み受注の実態を把握して、適切な対応を検討します。
- ・ 納期と量の関係を自社の生産能力と比べて対応策を検討します。
- ・ 急な納期変更や割り込み受注に対応するために、「モノの流れ」と「情報の流れ」を一致させたうえで仕事の切り替えを素早くできるようにします。

1. 割り込み受注の分析

割り込み受注の実態を把握しましょう。頻繁に急に発生しているのであれば、そもそも受注の仕方に問題があるかもしれません。標準品であれば製品在庫を持って対応することも考えられます。準標準品であれば、仕掛在庫を以って対応すれば納期に間に合うと思います。受注対応品であれば、その都度工場に確認して納期を回答する仕組みにします。

2. 納期と量の管理

顧客が要求する納期通りに顧客へ良品を届けることが大切ですが、「割り込み受注があり納期に間に合わない」「トラブルが発生し納期に間に合わない」といったケースもあり、その顧客にムリをして納めると、他の取引先の要求に応えられない心配もあります。

在庫を多く持てば、保管費用の増加、製品の陳腐化など利益のマイナス効果も出てきます。まったく在庫を持たなければ、欠品や販売機会の損失により結果的に利益を落としてしまいます。在庫を極限まで圧縮しつつ、納期を遵守できる管理に改善していきます。

3. 割り込み受注の対応

- ①必要なファイル（情報）が見つからず探すことはよくあります。時間のムダだけでなく意欲も下がってしまいます。仕事に取り掛かる際、関連するファイルや道具が直ぐに取り出せるようにしておきます。
- ②急な納期変更や割り込み受注、作業者の急な欠勤、予想外の欠品などへの対応には、あらかじめリスク（変化）を予測して事前の対応を取っておき、不測の事態への対応が速やかに行えるようにします。
- ③仕事の切り替えを素早くできるようにし、付加価値を生む仕事の時間を増やす必要があります。段取り替えに時間が掛かると段取り替え回数が多くできず、結果として生産ロット数が大きくなり、急な変化に速やかな対応ができません。

設備の段取り替えの短縮だけでなく、組立ラインの品種替えも短時間で、もしくは一瞬でできるようにします。キャスター付きの台車などを利用して素早く切り替えたり、シーケンサーなどを利用して品種番号を入力すると部品が自動的に選択される簡単な部品供給装置を導入したりして効率を上げます。